

東京二十三区清掃一部事務組合
基本計画改定・実施計画策定検討委員会（第2回）
会議要旨

- 1 日 時 令和8年6月25日（木）午前10時35分～午前11時15分
- 2 場 所 東京区政会館 14階 入札室
- 3 出席者 10名
- 4 議 題 基本計画(素案)【資料1】
基本計画改定の今後のスケジュール【資料2】
- 5 会議経過

議題 基本計画(素案)

事務局： 資料1を用いて説明

委員： 第3章の現状と課題について、項目間でレベル感に差異があると感じた。

事務局： 主管課の意向も踏まえながら調整してきたため、項目間でレベル感に差異がある可能性はある。主管課と調整し文言修正を検討する。

委員： 取組方針について、33ページの「多様で柔軟に働ける就業環境の整備」など、作成者の意図は分かるが、読み手にとって意味が分かりにくい表現が見受けられる。誰が読んでも分かるよう、文章を見直す必要がある。

事務局： 分かりにくい文章については見直しを行う。また、専門用語については注釈あるいは用語集を掲載することを検討している。

委員： 現状に対する課題が今後取り組む事項になっている箇所がある。現状と課題を対比できるよう、全体の統一感を踏まえて見直しいただきたい。

委員： 第2章の「一組の現状」では職員構成が最初に記載されており、一方、第3章の基本計画の施策体系では組織体制が行政運営の4番目に置かれている。記載順について整合性を取れるか検討いただきたい。

事務局： 「一組の現状」の構成は経営計画の流れを汲んでいる。今後実施する23区への意見照会結果も踏まえ、パブコメに向けて検討する。

委員： 課題の文末について、「重要です」「必要です」「不可欠です」などが使い分けられているが、レベル感に応じた使い分けであれば補足説明をいただきたい。また、その記載方法は所管課と打ち合わせたものなのか。

事務局： 「必要です」「重要です」「課題があります」とした表現は、課題感として最上位に位置付けている。一方、「求められています」は外的要因により対応が求められているものとして整理している。文言については、事務局でレベル感に応じて作成したうえで、各所管課へ確認している。

委員： 24ページの課題Ⅰのみ文末が「課題となっています。」となっており違和感があるため、他の表現と統一したほうがよい。また、12ページの図表8のグラフを1つにまとめた方がよい。

事務局： 課題のレベル感に応じた記載とする。また、グラフについて、職員配分定数が減っている状況が分かりやすくなるよう調整する。

委員： この基本計画素案は、一組の経営理念をどのように落とし込んだものなのか。

事務局： 基本計画の施策の文言だけではつながりが見えづらいかもしれないが、例えば「区民の信頼に応える」や「安全」は行財政運営の取組の3や4にあたる。

委員： 8ページ以降に記載のごみ量と最終処分量の動向について、ごみ量は実績と推計のグラフを分けているが最終処分量は分けていない点が気になる。加えて、31ページの「民間事業者等の技術、ノウハウの活用」①で余

剰電力の販売に関する取組が書かれているが、対応する現状と課題の中で電力について触れておらず、唐突感がある。また、その次の②の取組は現状と課題のⅢにも当てはまるのではないか。

事務局： ごみ量の実績は内訳があるのに対し、推計は内訳がないことからグラフを分けている。最終処分量のグラフも実績と推計を分けた形にできると考える。現状と課題の記載内容は、全体のボリューム感やバランスを見て調整している。

委員： 33 ページの「工場管理体制の見直し及び業務の集約化」について、見直し対象を工場に限定しなくてもよいのではないか。

事務局： 「組織体制の見直し」といった表現へ見直す。

委員： 基本計画の公表は半年以上先になるが、第2章の経済情勢の記載内容は最新の状況に合わせた見直しを行うべきである。

事務局： 最終案の策定まで、最新の状況へ見直しを行う予定である。具体的な数値をどこまで記載するかも含め、記載内容を検討する。

委員： 今回、様々な指摘が各委員からあったが、別途追加意見を提出する機会はあるのか。

事務局： 今後23区へ意見照会を行うため、それまでに具体的な指摘をいただければ対応する。

委員： 一組と23区、東京都それぞれの役割について記載したほうがよい。

事務局： 第1章の初めに、清掃事業の役割分担の模式図を追加する。

議題 基本計画改定の今後のスケジュール

事務局： 資料2を用いて説明

委員よりいただいた意見を素案へ反映したのちに、23区への意見照会することとする。

委員： 了承。

以上